三鷹市立第五中学校　令和8年度【数学】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	○家庭学習時間と理解度の関係性を定期考査などから分析し、生徒に周知したことで家庭学習に取り組む生徒が増えた。 ○基本事項を確認する小テストを定期的に実施することができたが、実施の時期にばらつきが出た。	＜現状＞ ○定期考査や単元テストのない期間を中心に基本事項を確認する小テストを実施している。 ○授業の最初に、前時の内容を確認してから本時の授業を行っている。 ○定期考査前や小テスト後に補習を行い、基礎・基本の確認を行っている。 ＜課題＞ ○問題の内容を把握する力に課題がある。 ○自ら学習する内容を調整して、家庭学習できるようにしていく必要がある。	◎板書を写すだけでなく、よく話を聞いてその内容を自分の言葉でノートにまとめることで、学習している内容をより理解できるようにする。 ◎自力解決の後には他者と考えを共有する時間を作り、理解したことをアウトプットすることで、より深く理解できるようにする。 ○家庭学習での復習のしかた（どの教材で、どのくらいの時間、どのように学習すると良いのか）を学力テストや定期考査の返却の際に指導する。
第2学年	○三鷹市小・中一貫カリキュラムに基づいて単元計画を作成することで教員間での単元における重点目標等の共有や進度の調整を行った。 ○単元ごとにテストを行い、定期考査よりも短いサイクルで自分の学習状況を振り返ることができるようになった。	＜現状＞ ○授業時にそれまでの既習事項を復習し、基礎・基本の確認を行っている。 ○自分の習熟度に応じて目標を設定して授業に取り組んだり家庭学習に取り組んだりすることで、目的に応じた学力の定着を目指している。 ○定期考査について学校全体での取り組みを行い、数学の学習時間を確保している。 ＜課題＞ ○基礎的な計算力が不足している生徒がいる。 ○授業とその復習といった学習習慣のサイクルが定着していない生徒がいる。 ○自己の課題を客観的に見いだす力が弱い。	三鷹市『学び』のスタンダード（学校版）に基づいてより良い学習習慣が身に付くよう、以下の項目を重点に指導する。 ○授業前に前時の振り返りを実施し基礎基本の定着を図る。 ○授業ごとの振り返りを書かせたり学習カードを利用したりすることで振り返りの内容を充実させ、自分の取り組みや理解度などについての課題を客観的にとらえやすくする。 ◎小テストや単元テスト、休み明けテストなどを利用して毎日の学習の取り組みや自分の習熟度を確認する機会を増やす。
第3学年	○三鷹市小・中一貫カリキュラムに基づいて単元計画を作成することで教員間での単元における重点目標等の共有や進度の調整を行うことができるようになった。 ○宿題テストや小テスト、定期テストの振り返りを活用することで、昨年よりも基礎的な計算力がついた生徒が増えた。	＜現状＞ ○前の授業や既習事項などを結びつけながら学習を行っている。 ○自分の考えを、数学的に説明する機会をできるだけ取り入れている。 ○学習のサイクルが確立してきた生徒が増えた。 ○定期考査について学校全体での取り組みを行い、家庭も含めた数学の学習習慣の定着と学習時間の確保をしている。 ＜課題＞ ○基礎的な計算力が上がった一方で、自分の考えや数学的な内容を言葉にする力、表現力が不足している。 ○授業で得た知識を正しくアウトプットできない生徒がいる。	○ノートを活用して授業内容の振り返りを行いやすくできるよう、板書とワークシートを工夫する。また、ノートについて、板書されたことを写すだけでなく、他の人の意見を聴いて気づいたことなどをメモする習慣をつける。 ○定期考査の直しや、振り返りシートなどで自分の取り組みや理解度などについて、自身の課題を客観的にとらえる機会を充実させるとともに、自己分析を行うようはたらきかける。また、それらを活用して自分の考えを言葉にする力と表現する力を高める。 ◎定期考査だけでなく、宿題テストや小テストを導入するとともに、テストの類題や振り返りを活用し、毎日の学習の取り組みを確認する機会を増やし、学習内容の定着を図る。